

あんげろす

座右の銘

日々の生活で一番多く思い起こし、その意味を反芻することの多い言葉を、私は座右の銘と定義している。したがって、ある言葉が、座右の銘になるにはそれ相当の年月を必要とする。それはまた、座右の銘を云々するのは、年を取った証拠にもなる。

私の座右の銘は、「あなたは義に過ぎてはならない。また、賢きに過ぎてはならない。あなたはどのようにして自分を滅ぼしてよかろうか」

(コヘレトの言葉 7章16節) という旧約聖書の一節である。

この言葉と関連して、私はいつもピロード革命の指導者であったチェコの大統領ハベルの演説を思い出す。彼は現代世界が直面している脅威の根本原因の一つとして人間の「自惚れた精神」を挙げる。「自ら自然を全体的に理解し、好きなように操作できる」という自惚れ。「自己の歴史を総体的に理解でき、それゆえに万人にとって幸福な生を設計でき、……それに賛同しないものは皆、掃討する権利さえ与えられている」という自惚れ。この自惚れこそが自然を破壊し、自分のみならず多くの人々を不幸におとしめたと、彼は言う。

こんな人間に、聖書は繰り返し、正しきに過ぎるな、賢きに過ぎるな、お前は神ではない、一介の人間に過ぎなしのだと、語りかけている。



橋本 茂

第30号

2003.2.